

# 鶴岡市障害者地域自立支援協議会だより

No.17

<目次>	P1	部会長会議を開催しました
	P2	放課後等デイサービス職員の情報交換会を開催しました
	P3	部会活動報告
	P4	リレートーク（こっこ）

## 平成29年度鶴岡市障害者地域自立支援協議会 部会長会議を開催しました

5 / 1

### 各部会の活動状況及び課題、今後の活動方針について

5月1日に、平成29年度鶴岡市障害者地域自立支援協議会部会長会議が開催されました。平成24年に協議会が設置されてから初めての試みです。

第1回部会長会議では、まず、各部会より活動状況及び課題と今後の活動方針についての報告を行い、その後平成29年度に開催する研修会について協議を行いました。昨年度の協議会

活動では「他分野との連携」「障害の理解・啓発」

「社会資源の創出」と3つの課題が明らかとなり、今年度はそれを踏まえ、他部会とタ



部会長会議の様子

イアアップした活動などを検討していくことで全員一致しました。また、部会長会議を行うことで各専門部会間での情報を共有し、力を入れることや協力して行うべきことの確認や共通課題の整理を行いやすくなりました。今回のみに留まらず、今後も部会長会議を開催していきます。



### Pickup!

平成27年度事業所別工賃実績を鶴岡市のホームページに掲載しました

平成27年度事業所別工賃実績を鶴岡市のホームページに掲載しております。参考資料としてご活用ください。

【鶴岡市ホームページ → 「健康・福祉・医療」  
→ 「障害福祉」 → [「◆鶴岡市障害者地域自立支援協議会」](#)】

鶴岡市 自立支援協議会

検索



## 放課後等デイサービス職員の情報交換会が 開催されました

6 / 30

### 放課後等デイサービス事業所ガイドブック作成チームの結成

こども部会では、平成29年6月30日(金)に放課後等デイサービス職員の情報交換会を開催しました。現在、鶴岡市にお住まいの方が利用している12の放課後等デイサービス事業所と4つの相談支援事業所から計25名の参加がありました。



情報交換会の様子

パンフレットを持ち寄り事業所ごとに自己紹介を行い、その後「活動内容について」「宿題等の取り組み」「家族との連携について」「加算について」「家族支援について」「温海地域・朝日地域・櫛引地域・羽黒地域・藤島地域の利用・送迎状況について」と、事業に関係す

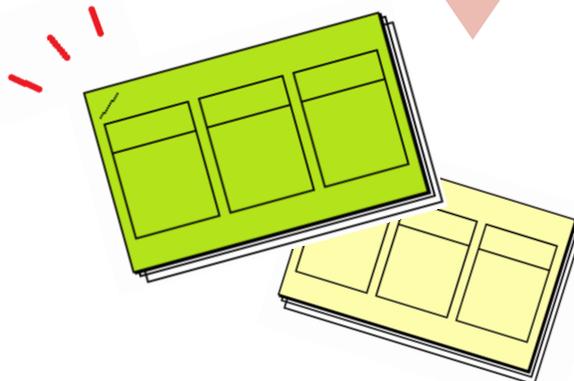
る様々な情報の交換を行いました。今回の情報交換会により、情報を共有できただけではなく、事業所間で顔の見える関係を築くことができ、障害のある子どもの支援方法について改めて考える機会となったと思います。

また、これを機に放課後等デイサービスのガイドブックを作成することとなりました。事前に行ったアンケート調査を元に、開設時間や定員人数といった基本的な情報から、利用時の食事や送迎などのタイムスケジュール、イベントの開催状況、各事業所のアピールポイント等をまとめたものを作成する予定です。福祉の情報は得にくいという声が聞かれます。本人にあった支援を受けさせたい、福祉サービスを利用してみたいがどうしたらよいかわからない・どこを選んだら良いのかわからないといった悩みを抱えているご家族もいらっしゃると思います。このガイドブックが、放課後等デイサービスの利用を考える・選択する際の助けとなるものになればと思います。

### Pickup!

#### 今年度より障害福祉サービス受給者証・通所受給者証の様式が変わりました

今年度より障害福祉サービス受給者証・通所受給者証が従来の手帳タイプからA4の紙タイプへと変更になりました。障害福祉サービス受給者証はゆず色、通所受給者証は薄緑色です。新しい受給者証(紙タイプ)の交付を受けた方で旧受給者証(手帳タイプ)をお持ちの方は、ご都合の良いときに本所福祉課または地域庁舎市民福祉課まで旧受給者証の返還をお願いいたします。



# 部会活動報告

平成 29 年度の活動方針・活動予定

鶴岡市障害者地域自立支援協議会では、障害福祉分野の課題について、専門的に対策を協議するため、4つの専門部会を設置しています。

ここでは、各部会の活動の進捗状況及び29年度の活動についてお知らせします。

## 相談支援部会

平成28年度は①介護保険分野との連携、②医療・療育分野との連携、③権利擁護分野との連携の3点について連携ツールやパンフレットを作成し、関係機関との連携に向けた活動を展開してきました。平成29年度は更なる連携強化を目指し、ツールの見直しと周知活動を推進します。介護保険分野との連携については、相互理解と障害⇄介護間の移行の可視化、顔の見える関係づくりを推進すべく合同研修会を企画中です。その他「不足する社会資源のニーズ調査の実施」「相談支援の質の向上」「精神障害のある方の地域移行定着支援」についても協議・実践を重ねていきます。ニーズ調査や課題分析から社会資源の開発につなげていく視点を持ち、日々の支援や事例検討等を通じ相談支援専門員として自己研鑽と質の向上を目指していきます。

## 子ども部会

平成29年度は、障害のあるお子さんやご家族の支援に携わる関係機関で地域課題等について情報を共有し、連携がより強化されることを目指して活動していきます。6月には放課後等デイサービス職員の情報交換会、9月には障害のあるお子さんのご家族の講話会（主任児童委員対象）、11月には災害時の地域での支援についてワークショップの開催、平成30年1月には障害のあるお子さん・ご家族を取り巻く現状と課題について関係者より広く意見を伺い共通理解を深める全体会を行う予定です。

また、個人・関係機関で活用されている「子ども版障害福祉のしおり」の改訂作業を引き続き行っています。

## 発達障害部会

平成29年度は、様々な分野の構成員が所属している当部会の強みを活かしながら次の3つの柱を掲げ活動に取り組んでいます。

1つめは当事者及びその家族のニーズを把握するため、福祉に関するアンケート調査の結果の分析・考察をします。

2つめは発達障害に関わる悩みを抱えている方がより早く、適切な相談窓口につながるができるよう、発達障害に関わる相談窓口の可視化することを目的に、各機関の相談内容や連絡先等が記載されたリストを作成します。

3つめは地域の発達障害への理解促進及び二次障害を防ぐため、地域の団体や企業団体等が主催する発達障害をテーマとした研修会の企画協力・講師コーディネート等のバックアップを行っていきます。

## しごと部会

平成28年度は福祉領域のみならず他分野との顔の見える関係づくりを推進し、部会を通じて教育・企業とのタイアップの機会を持つことが出来ました。平成29年度についてはこれらの更なる強化・ネットワーク構築を目指して活動していきます。具体的には、障害のある方の就労支援の充実に向けて、ハローワークより役割・制度活用に関する話題提供を受けたりマッチングの機会を設け、企業からの理解啓発・協力を繋げることを目指します。また、バザー開催や各種イベントでの販売機会の拡大を図ることで、地域住民との接点をもつ機会を企画していきます。その他、支援力向上や他職種連携、制度理解促進を目的に就労支援チャート（仮称）の作成・修正を行っていきます。

<第5回>

想いをつなぐ!

日々の事業所展開で思うこと、部会・個別支援会議に参加して感じたこと、今後活かしていきたいこと等を寄せていただくコーナーです。

# リレートーク

多機能型事業所こっこ  
所長 松浦真紀子さん



## ～動物との触れ合いを通じ 自立への一歩を歩む～

旧羽黒町の中心部に農場があり、のどかな環境下、3,000羽の採卵鶏とポニー3頭が元気いっぱいいわんぱくに過ごしています。近日ヤギが仲間に加わる予定です。

株式会社わんぱくでは、これまで7年間、特別支援学校生徒の現場実習を受け入れてきた経験をもとに、障害のある方の支援に携わりたいとの想いから平成29年5月より多機能型事業所（A型・B型）を開所しました。現在の

養鶏業は大型施設化の傾向があり、工程のオートメーション化にて、えさやり・水やりも



爪楊枝が立つほどしっかりした黄身！  
君（黄身？）の名は!?

卵がパックに入り製品化されるまで人手がかからないシステムが主流です。当農場では流れに逆行し、未利用資源を発酵飼料に変え、環境にやさしい、自然に近い放し飼いの飼育方法を行っています。生きている動物との触れ合いを通じて愛情という優しさを与え合っているのです。従事する中で、利用される方の笑顔が生産性の向上につながり、働く事の楽しさ、言葉こそないものの感情溢れる動物との触れ



合いを通じ自立の第一歩を歩んでほしいと思います。農場で生産した卵も愛情いっぱいに育ったものです。みなさん是非ともお手にとってご賞味ください。きつとご満足いただける自信があります!!

サービス利用または卵の購入を希望される方はお気軽にご相談・ご見学ください。お待ちしております。

【就労継続支援A型

・就労継続支援B型】

多機能型事業所こっこ

〒997-0141

鶴岡市羽黒町荒川字漆畑33番地

TEL: 0235-64-8733

／  
わ  
ん  
ぱ  
く  
た  
ま  
ご  
／



「6個入」から販売しております!  
(^o^)♪

編  
集  
後  
記

来年度の医療・介護・障害報酬のトリプル改定、第5期障害福祉計画（児：第1期）の開始を控え、今年度は変化に備える日々になりそうです。制度や計画は変わっても、本人主体の支援や自分らしく暮らす願いは変わらないはず。“共生社会”にむけ繋がっていきましょう!! だよりでは年4回の発行を通じ活動進捗を随時お伝えしていきます。

(編集者YDK)